

葛飾区立南綾瀬小学校

児童数：136名(平成28年5月1日現在)
 芝生化面積：2,940㎡
 芝生が完成した時期：平成22年度

5月18日 専門家に電話相談

裸地が目立ち、夏芝がなかなか出てこない…



5月25日 専門家による現地確認

一部に残る冬芝を低く刈り、夏芝の生育を促す。裸地の部分は、ポット苗による補植を行うことに。



6月1日 ポット苗づくり

専門家の指導の下、4～6年生がポット苗づくりに挑戦。7,500個の苗を作りました。

ぐんぐん大きくなあれ!



7月12日 ポット苗の植付け

学校、保護者、地域の皆さんで穴を掘り、子供たちが苗の植付けを実施。ポットからそとと苗を取り出して、一つずつ丁寧にしっかりと植えました。

養生期間

夏休み期間中は養生をし、水と日光をたっぷり浴びた芝生。苗と苗がつながり、裸地に芝生がだんだんと広がりました。

10月2日 芝生の校庭で運動会

青空の下、一面に広がった芝生の上で運動会を実施。子供たちの笑顔が光りました。



南綾瀬小学校 マスコットキャラクター にこしぼくん



「共に」という考え方を大切に

インタビュー

風澤 明子 校長先生

夏休みが明けて一面に芝生が広がった校庭を見て、子供たちは、「わあ～すごーい! きれい」と目を輝かせていました。自分たちが育てたポット苗が夏休みの間にみるみる成長し、生まれ変わった経験はとても貴重なものでした。



補植活動には、子供たちだけでなく保護者や地域の方々にも声を掛けて参加していただきました。「共に」取り組むことが大切だと考えています。見事に回復した芝生の上で、楽しみにしていた運動会やお弁当給食を行うことができました。子供たちの笑顔を見て良い取組ができた実感しています。

芝生の専門家から

ひとつとアドバイス

株式会社 栗芝

代表取締役 栗島 香さん
 ■お問合せ TEL.03-5903-5333

ポット苗補植のメリットは?

- ①芝が自分の力で自生するので、生命力が強く丈夫な芝草に育ちます。
- ②児童・生徒、保護者、地域の皆さんが自分たちの手で作業するので、芝生に愛着を持つようになります。
- ③「この程度の傷みなら自分たちの手で回復できること」が分かると、「利用」→「傷み」→「再生」のサイクルが確立できます。

補植によって回復した部分の芝生は、擦り切れに弱い状態です。芝生の回復がゴールではなく、その芝生をどのように、より丈夫に育てていくかが大切です。校庭の環境は学校によって異なると思いますが、日常の維持管理や利用方法のちょっとした工夫が良好な芝生の維持につながります。困ったときは御相談に応じますので、いつでもお気軽にお電話ください。

ポット苗補植を行う上で大切なことは?

☆水・日光・肥料

植付けまでの約6週間、日当たりの良い場所に置き、たっぷりの水と肥料をあげます。

☆子供たちの動きに留意

子供たちが遊びに夢中になって苗を傷つけてしまいそうな場面を回避しましょう。芝生の赤ちゃんであることを伝え、子供たちもポット苗を意識ようになります。

☆補植後の維持管理と利用の工夫

日常の維持管理作業(散水、芝刈り、肥料まき)をしっかり行いましょう。同じ場所に過度な踏圧が掛からないように利用の仕方も工夫するようにしてください。

